

平成30年度 第1回和光市自立支援協議会 会議録（要録）

- 1 日 時 平成30年7月27日（金） 10時00分～11時30分
 2 場 所 和光市役所 6階 603会議室
 3 出席者 17名

	所属団体等	氏名
会長	十文字学園女子大学教育担当	佐藤 陽
副会長	和光市心身障害児・者を守る会	深野 正美
委員	社会福祉法人章佑会 (和光市中央地域生活支援センター)	押領司 賢二
委員	障害者支援施設すわ緑風園	漆原 新吾
委員	社会福祉法人 和光福祉会	池亀 優子
委員	特定非営利活動法人 ポコ・ア・ポコ	山本 恵子
委員	医療法人寿鶴会 菅野病院	望月 博文
委員	埼玉県立和光南特別支援学校	高萩 直子
委員	朝霞公共職業安定所	小林 正明
委員	和光市身体障害者福祉会	下川 初江
委員	特定非営利活動法人 耀の会	関 正視
委員	和光市社会福祉協議会	野川 希代子
委員	和光虹の会	海老原 利昭
委員	公募による市民	齋藤 順子
委員	公募による市民	半田 理江子
委員	その他市長が必要と認める者	高田 奈歩
委員	その他市長が必要と認める者	小宮 正浩

4 欠席者 2名

	所属団体等	氏名
委員	埼玉県朝霞保健所	田島 貴子
委員	和光市教育支援センター	對馬 秀樹

（事務局）星野保健福祉部長

地域包括ケア課 阿部課長

社会援護課 前島課長 内田統括主査 三澤主査 濱口主査

5 傍聴者 5名

1 委嘱式

部長より委員へ委嘱書を交付

2 会長及び副会長の選出

【 星野部長 】 委員一斉改選後の初回会議のため、会長副会長が決まるまでは、私が仮議長を務めます。まず委員の自己紹介をお願いします。

<委員自己紹介>

【 星野部長 】 自立支援協議会要綱第6条には、会長副会長は互選により定めることになっております。どなたか立候補される方がいましたらお願いします。立候補がないようでしたら、推薦をお願いします。

【 山本委員 】 前年に引き続き、会長に佐藤委員、副会長に深野委員を推薦したい。

【 星野部長 】 会長職に佐藤委員、副会長に深野委員との推薦がありました。いかがでしょうか。

<全員賛同>

【 星野部長 】 では、会長は佐藤委員、副会長は深野委員をお願いいたします。これで仮議長を降ります。

【 佐藤会長 】 それでは、会長に代わり議長を務めさせていただきます。議事録署名人については、名簿順とし、押領司委員と漆原委員をお願いします。

3 第五次障害者計画・第5期障害福祉計画について

事務局説明

資料 第五次障害者計画・第5期障害福祉計画

【 関委員 】 今年はこの計画を実行することが最大の課題である。この課題をどのように乗り越えていくかは、優先順位をつけて専門部会で取り組んでいくことが重要である。

計画の冊子は、何冊作成されたのか、またどこまでの関係者に配布されたのか。

【 内田統括 】 予備も含め、110～120部作成している。自立支援協議会委員へは配布しているが、もし希望者がいれば事務局で配布可能である。

4 自立支援協議会専門部会の設置について

事務局説明

資料1-1 自立支援協議会専門部会の設置について

資料1-2 平成30～31年度 和光市自立支援協議会部会委員名簿（案）

- 【野川委員】 専門部会の資料は事前に全委員へ配布し、意見を付す機会があることは非常にありがたい。限られた時間での審議のため、ぜひお願いしたい。SPDCA サイクルについて、次期計画に向けてのニーズ調査の内容やスケジュールは検討しているのか。
- 【内田統括】 来年度に全障害者に向けてニーズ調査を行う予定である。内容やデータの作成方法については未定であるが、多くの方の意見を次期計画に反映できるように努めていく。
- 【海老原委員】 専門部会の委員構成について、各部会ともに当事者団体の意見が重要である。可能な限り、当事者を入れてほしい。
- 【内田統括】 現在の案では、権利擁護部会について、当事者がいない状況のため、他の部会からの移動又は外部委員として当事者団体から推薦いただく等検討していく。
- 【佐藤会長】 各部会とも本会議の構成メンバーだけでなく、部会に必要な外部委員の推薦をいただき、より内容の充実を図っていただきたい。
- 【半田委員】 海老原委員がおっしゃられたとおり、当事者の方の意見が反映できる構成が必要であると思う。また、権利擁護部会は、虐待防止や差別解消についても議論される部会となっている。報道でも取り上げられているとおり、施設での虐待が増えているため、現場の意見も反映されるように施設職員の関係者も入れてほしい。
- 【関委員】 今年度も残り8～9ヶ月となっているため、部会委員の構成を確定させて、今後のスケジュールをしっかりと組んで進めなければならない。また、部会の位置付けとして部会にある程度の決定権を持たせるのか、本会議との関係性について確認したい。
- 【内田統括】 部会を作る目的として、フットワークを軽くし、各専門部会においてコアな部分を深く議論していただきたいと考えている。また、部会だけで話が進まないように全委員の方へ情報を共有しながら進めていきたい。

3 その他

- ①今後のスケジュールについて
- ②自立支援協議会での研修等について
- ③精神グループホームの進捗状況について

事務局説明

参考 平成30年度の開催スケジュール（案）について

- 【半田委員】 自立支援協議会は各方面の関係者が多く集まっている貴重な場である。この会議で大事にしていきたいことは、和光市で障害を抱えている方、家族の方、支援者の方、その方々の抱えている課題を話し合っ解決し

ていくことであると考え。しかし、限りある時間のため、それぞれの課題を出していく時間がないように感じる。まずは、委員同士でコミュニケーションが取れる懇談会、研修会等を開催されると良い。

【海老原委員】精神グループホームの説明会は、どなたでも参加してよろしいのか。日程や場所も決まっているのか。

【内田統括】日程や場所はこれから検討してく状況である。開催日時が決まり次第、委員の方にもお知らせする。

【海老原委員】今年の社会参加支援事業について、チャレンジドスポーツ大会や合同展示会を挙げているが、予定通り開催していくのか。

【前島課長】チャレンジドスポーツ大会や合同展示会は例年通り開催する予定である。

次回会議について 平成31年3月頃開催予定。